

第7号様式 (規程別表第1 第2項第2号エ関係)



出張報告書

令和7年1月27日

尼崎市議会議長 様

会派名 日本共産党議員団

代表者氏名 川崎敏美

出張者氏名 川崎敏美

真崎一子

松澤千鶴
山本直弘

このたび、出張しましたので、次のとおり報告します。

1 出張期間 令和7年1月15日から令和7年1月16日まで

2 結果の概要

用務先 福井市 富山市	報告事項 (この欄には要点を箇条書きにし詳細事項がある場合は別紙添付) 1 福井市立図書館施設 複合施設の特徴や運営方法、課題について学ぶ 2 富山市公設地方卸売市場 PFIでの運営上のメリット・デメリットを検証 3 4 5	
添付書類 ☐ 出張報告書 ☐ ☐ ☐	備考	

3 届出事項の変更等 ☒ なし ☐ あり (内容は裏面に記載)

旅費の精算

- ☒ 精算額は、令和6年12月16日届け出た額 (146,640 円) と同一額である。
- ☐ 届出事項の変更等により、別途精算する。(精算額は裏面に記載)

(裏面)

届出事項の変更等の内容

変更等の事項と理由

支 出 額	
精 算 額	
支出 差引 額 戻入	

変更前と後の日程

月	日	日	日	日	日	日	日
前							
発着地							
後							
前							
経 路							
後							
前							
用務先							
後							
前							
宿泊先							
後							

2025年1月27日

尼崎市議会議長
北村 保子 様

日本共産党議員団

松澤 千鶴
真崎 一子
川崎 敏美
山本 直弘

議員団視察報告

2025年1月15・16日行政視察を行いましたので、以下の通り報告します。

1 福井市立図書館について

目的：~~2024~~²⁰²⁵年5月1日オープンした図書館と地域交流センターの複合施設である。

その特徴や運営方法・課題を共有する。

調査内容

・複合施設にした理由

市立図書館が老朽化し建て替えが必要となった際、

図書館利用以外の市民が気軽に利用できるスペースも設けたいと考え、複合化を進めた。

駅から離れているが、バス・地域鉄道の停留所が輻輳し、また、教育施設が集中している地域であるという地の利も考えた。

・直営で運営している理由

県内では武生市が指定管理で「ツタヤ」と契約している取組もあるが、様々な課題も生じているようだ。図書館は直営があるべきと考えている。

福井市は5つの図書館をもっており、受付けのみ部分的に民間委託している。

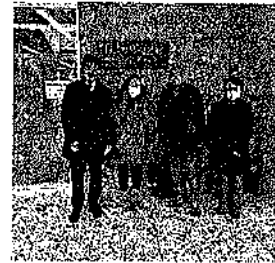
・喫茶コーナーを設けていない理由

設置を求める声もあったが、床スペースの確保の点、民間が参入するだろうが採算がとれるかという点から設けなかった。地域交流センターは飲食の持ち込みはOKとしている。

感想

本市で進めている北図書館とトレピエの複合化の取組も、施設の老朽化による再編という点では共通点があるが、福井市では図書館機能をさらに向上させたいという意気込みを感じた。

児童室と一般室を通路で区分し、親子が気兼ねなく読み聞かせができる空間をつくる。また、複数で学び合えるグループ室を設けるなど、利用者に寄り添った図書館づくりを進めていると感じた。



2 富山公設地方卸売市場について

目的：尼崎市の今後の卸売市場を考える時、
モデルにしたのが富山市の取組だった。
PPP/PFIでの運営上のメリットデメリットを調査する。

調査内容

2021年4月民間事業者と基本協定書を締結、
23年3月青果部・関連店舗・事務所棟の供用
開始、24年8月水産棟共用開始、現在民間収益施設エリアの整備が進んでいる。
比較的新しい花き部と冷蔵庫棟は再整備の対象にはしていない。
青果部が独自で物流協同組合を作り、物流棟を建設した。
再整備後市場面積は約55%に削減された。

・PPP/PFIを導入した理由

2005年市町村合併をし、その後は16億円以上の投資事業はPPP/PFIを優先するルールを作った。

市場施設と民間収益施設を同一の事業者が所有することで、維持管理の効率化が図れる、社会情勢や流通構造の変化等にフレキシブルに対応できる、民間収益施設から得られる利益を見込むことで市に求める負担額を抑えることができるといったメリットがある。

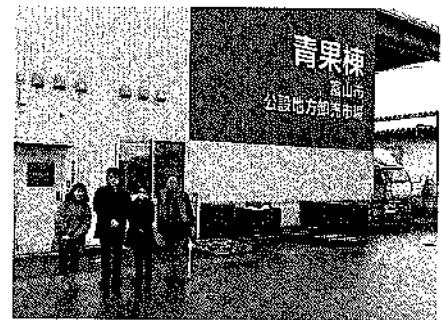
・契約期間を30年とした理由

コンサルタント業者からの援助も受け、社会情勢が大きく変わる可能性など鑑み30年程度が適当と判断した。

感想

ここ30年余りで全体の取扱高は400億円から200億年に半減しており、30年後どうなるのか予測は全くつかないとのこと。

市場規模は右表のとおりで、尼崎市よりかなり大規模である。富山市をモデルに本市の再整備を考えたとのことだが、再検証が必要ではないかと感じた。



	青果部	水産物部	花き部
卸売業者	1	1	1
仲卸業者	9	5	3
売買参加者	77	73	52
関連事業者	28		